

TMKミライデザインプロジェクト (玉城町下外城田明るい未来推進PJ)

メンバー数：4名 活動場所：玉城町
実施主体：玉城町総務政策課
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：H30, R1

・最終報告会(予定)

・CLL活動報告
(伊勢志摩共生学)

・宮古地区報告会
・打ち合わせ
・小社曾根、屋田、山岡地区
・まちあるき

・岩出地区報告会

・玉城町史勉強会

・玉城町史勉強会(アンケート配布、
回収、模型づくり、
模型づくりワークショップ)

・人口推計を考える

・コーホート勉強会
・ビデオ通話で打ち合わせ

2019

5

6

8

9

10

11

1

3

◇今年度の活動をふりかえって(成果と課題)◇

この活動では、玉城町のなかでも人口減少や少子化が特に進んでいる下外城田地区において、地域の現状を地域住民に「見える化」し、地域の自己決定を支援、また地域住民の定住をサポートするという取り組みをしています。

昨年度からの岩出、宮古地区に加え、今年度からは新規地区として小社、曾根、山岡、屋田地区でも活動を行いました。

昨年度からの地区では、夏季休暇中に住民アンケートを一軒一軒にお配りし、地域の皆さんにご協力いただき、地域の皆さんのリアルな思いを知ることができました。その結果として見えてきたことは、これからも地域に暮らし続けたいという人がいる一方で、あまり自分の地域に愛着がないという人もいました。今後の課題としては、自分の地域に愛着がないという住民に対して、どのようにしたらより地域活動に参加してもらえるのか、そして何より自分の地域を好きになってもらえるのかということであると考えます。

新規地区では、地形模型を作成するところから始まり、それぞれの思い入れのある場所に旗を立てていただき、後に子どもたちと町歩きをして、地域の魅力に気づいてもらうという取り組みをしました。また町歩き中に訪れた小社神社という神社の再興した当時、明治時代に子どもたちの間で人気であった紙芝居をオリジナルで作成しました。大人でもなかなか難しいような、奥の深い歴史を、紙芝居という楽しそうなワクワクするような形にして伝えることで、自分たちの地域の歴史を楽しく学んでもらうことができたと思います。



(↑地形模型作成)

◇特にアピールしたいポイント◇
いかに楽しく自分たちの地域に興味を持ってもらえるか、愛着がわくのかを重視してWSを考えていること

(↓地域の魅力を撮影中)



(↑町歩きWS)



(↑紙芝居)

